

救急集中治療医学

【実習目標】

一般目標：

- ① 高度救命救急センター(ICU, ECU, HCU, 救急外来)実習により基本的な救急・重症患者の診療を理解する.
- ② 救急・集中治療・災害医療・緊急被ばく医療の仕組みを理解する.
- ③ 病院外における救急現場の経験を通じて、病院前救護を理解する.
- ④ ドクターヘリシステムの意義を理解する.
- ⑤ チーム医療, 医療倫理, 医療経済を理解する.

行動目標：

- 1) 高度救命救急センター・集中治療部 (ICU, ECU, HCU, 救急外来) での実習
 - ① 救急初期診療の基本を述べる.
 - ② ICU 入室患者の2週間の身体所見, 重症度スコアの変化を把握し治療経過を知るとともに, 報告書にまとめる.
 - ③ 担当症例について, 救急集中治療科カンファレンスで症例プレゼンテーションを行う.
 - ④ 基本的な検査所見を解釈する.
 - ⑤ 基本的な救急手技(救急科専門医に必要な手技より選択) および薬剤について, 実技や実際の処方を見学し, 成書で確認しまとめるとともに, 担当教官に指導を仰ぐ
 - ⑥ 担当症例について, 診療経過の詳細及び文献等で学習した内容を PPT 形式にまとめる
- 2) 二次救命処置・集中治療・外傷救命処置・災害医療・緊急被ばく医療
 - ① シミュレータを用いて心肺停止に対する二次救命処置 (ALS) を修得する.
 - ② 重要な救急疾患 (敗血症, 急性呼吸不全等) の治療の基本を修得する.
 - ③ 集中治療・外傷救命処置の基本を述べる.
 - ④ 災害医療・緊急被ばく医療における一般的対応を述べる.
- 3) 救急車同乗実習
 - ① 病院前救護における救急隊員との医療連携を述べる.
- 4) ドクターヘリ実習
 - ① ドクターヘリの特徴, 適応, 期待できる効果について述べる.
- 5) 情意領域
 - ① 患者やその家族の心情を共有する.
 - ② チーム医療, 医療倫理, 医療経済, 終末期医療を学び, 医療人としての自覚を育む.

1. 集合場所など

- 1) 実習初日は、中央研究棟3階 救急集中治療医学研究室へ集合する。集合時刻は別途 Bb9 のスケジュール表にて通知する。
- 2) 実習中は、病棟を離れない（昼食は入院棟医師控室内でとる）。万が一病棟を離れる場合は、必ずその日の病棟責任者医師の許可を得る

2. 臨床実習

- 1) 救急集中治療科のカンファレンス（朝 8:15～，夕 16:15～）に参加する
- 2) 新規救急患者の初期診療に立ち会う
- 3) 実習中（日勤・夜勤ともに）は病棟内で実習し，医師控室や研究室に引きこもらない。

3. 症例プレゼンテーション

- 1) 担当患者の2週間の臨床経過（身体所見，検査所見，治療内容）をまとめる
- 2) 病態相関図を考察してまとめる（重要）
- 3) 医学文献（出典不明なインターネット情報は不可）を引用して，症例から学んだ問題点・今後の課題を考察する
- 4) テンプレートの PPT ファイルを用いて，実習最終日に発表する。プレゼンテーションの技術（声の大きさ・抑揚，ポインタの使い方，目線，制限時間など）も練習する。

4. ALS（二次救命処置）実習

- 1) 臨床実習入門プログラムの資料を事前学習しておく
- 2) 初日に ALS デモビデオ（救急集中治療医学研究室）を見て学習する
- 3) BLS, ALS, Primary survey, バッグバルブマスク換気法，除細動器の使用方法をシミュレーション実習する
- 4) 最終日に ALS の技能評価試験を受ける

5. レポート

- 1) 内容：
 - ① 症例プレゼンテーション（PPT ファイル）
 - ② 救急手技・薬剤レポート（Word ファイル）
 - ③ 研修医配属・救急集中治療科レジデント配属レポート（Word ファイル）
 - ④ チーム回診レポート・病棟実習レポート（Word ファイル）
 - ⑤ その他：オンライン実習時等では別途課題がだされる。

- 2) 提出期限；第2週目金曜日総括時

【指導教員】

志馬 伸朗	教授（医系科学研究科 救急集中治療医学）
廣橋 伸之	教授（原医研 放射線災害医療研究センター）
大下 慎一郎	准教授（医系科学研究科 救急集中治療医学）
太田 浩平	診療准教授（講師）（病院 高度救命救急センター）
東 真弓	講師（病院 集中治療部）
大木 伸吾	診療講師（助教）（医系科学研究科 救急集中治療医学）
錦見 満暁	助教（医系科学研究科 救急集中治療医学）
田邊 優子	助教（病院 高度救命救急センター）
上田 猛	助教（病院 高度救命救急センター）
板井 純治	助教（病院 集中治療部）
菊谷 知也	助教（病院 集中治療部）
京 道人	特任助教（放射線災害医療総合支援センター）
岡崎 裕介	特任助教（放射線災害医療総合支援センター）
西田 翼	特任助教（病院 危機医療センター）
内海 秀	特命助教（病院 高度救命救急センター）
三好 博実	特命助教（病院 高度救命救急センター）
石井 潤貴	特命助教（病院 集中治療部）

【評価の方法と基準】

評価項目	配点
指導医による行動内容の評価	55
担当症例の診察記録	5
臨床レポート(手技、薬剤等)	35
ALS 技能評価試験	10
症例プレゼンテーション	30
計	135

それぞれの実習毎に担当教官が"知識"および"実習態度"について評価する。

総合計点が 81 点未満(100 点満点換算で 60 点未満)は不合格とする。

【医局連絡先】

研究室直通 TEL: 082-257-5456（平日 9:00～17:00）

（※時間外の緊急連絡は下記にメールすること。教官の個人メールアドレスに連絡はしない。）

研究室 E-mail: kyukyu@hiroshima-u.ac.jp